

平成30年度事業報告書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

特定非営利活動法人 自然環境復元協会

1 事業の成果

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動

1) 資格認定講習

受講者数を維持すべく、【東京】国立オリンピック記念青少年総合センター（1月12日（土）13日（日））と【北海道】札幌科学技術専門学校（10月6日（土）7日（日））にて開催し23名の受講者であった。内訳等は以下のとおり。

平成30年度受講者数内訳

級	人数
上級	0名
中級	17名（うち北海道2名）
初級	6名（うち北海道0名）

環境再生医受講者推移（直近5年）

（単位：人）

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
初級	7	9	12	2	6
中級	7	14	13	21	17
上級	3	3	0	1	0
合計	17	26	25	24	23

2) 認定校制度

285名の環境再生医初級を認定した。

認定校での認定者数推移（直近5年）

（単位：人）

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
認定校	287	247	337	212	285

2018年度 認定校 環境再生医 取得者数

認定校名	取得者数 (人)
岩手大学	7
岩手県立大学	10
大阪産業大学	5
九州産業大学	28
岐阜大学	9
京都学園大学	1
神戸大学	1
神戸女学院大学	23
尚綱学院大学	5
芝浦工業大学	15
実践女子大学	5
拓殖大学	36

拓殖大学北海道短期大学	3
玉川大学	13
第一工業大学	0
都留文科大学	10
東海大学	7
東京農工大学	5
専門学校東京テクニカルカレッジ	9
西日本短期大学	4
日本大学	42
日本工科大学	6
長崎大学	9
宮崎大学	1
宮城大学	22
龍谷大学	9
	285

3) 資格制度の質の向上

ネットワークの活性化を目的に2018年8月に宮城県にてイベントを開催した。

4) 資格取得者の管理（更新等）

更新率対象者数179名のうち124名が更新を行った（69.3%）。

② 身近な自然環境の保全・復元・維持管理に係る活動

1) レンジャーズプロジェクト

レンジャーズ隊員の派遣を39回行い、333人の参加があった（企業・認定校のレンジャーズは除く）。

隊員登録数は3,058名。

横浜市内での実施はNPO法人よこはま里山研究所と協働で行った。

4団体（スポンサースチュアート、indeed、NPO法人フュージョン長池、拓殖大学等）から受託したプログラムを実施した。

2) 大阪マラソン2018

大阪マラソン2018公式寄付先団体としての選定を受け、大阪府内の自然環境保全活動を促進するおおさかレンジャーズプロジェクトを行った。地域に密着し、大阪府内の自然環境保全活動を行っている環境NPOの人手不足を解消すると共に、保全フィールドを次世代につなぐことを目的に「レンジャーズプロジェクト」を大阪府内3か所（大阪城公園・高槻市内の芥川・枚方市穂谷の里山）にて実施した。

2018.5.20 大阪春の陣でひこばえと雑草を退治せよ！ in 大阪城公園

2018.7.28 ビオトープ池の景観保全！ in 大阪城公園

2018.8.18 水辺の環境整備！ in 芥川緑地

2018.9.15 水辺の環境整備！ in 芥川緑地

2018.10.13 ビオトープ池周辺の景観保全！ in 大阪城公園

2018.12.15 里山で！棚田エリアの整備 in 穂谷の里山

2019.01.26 新年最初！落ち葉集め in 大阪城公園

2019.02.16 がっつり！里山作業 in 穂谷の里山

2019.03.23 河川をみんなでクリーンアップ！ in 芥川緑地

3) みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金

地球温暖化防止及び都市の自然環境保護の視点から、渋谷区低炭素まちづくり計画に沿った大型再開発が進む渋谷駅周辺地区を中心として、地域住民や団体、企業の参加・協力を得て、楽しみながら取り組める、緑の保全やフードロスの削減、打ち水、東京2020大会の会場の温度調査などを実施し、環境の改善に取り組んだ。

③ 農山漁村の活性化及び環境保全型農林業に係る活動

1) ふるさと未来創造事業

農林水産省「平成30年度農山漁村振興交付金」の採択があった地域協議会等より受託して

以下の業務を行った。

団体名称／地域	内容
宇都宮農村交流プロジェクト協議会／栃木県宇都宮市上河内	地域資源（農地・河川・歴史伝統文化等）を活かしたグリーン・ツーリズムプログラムの開発
高倉ふるさとづくりの会／埼玉県鶴ヶ島市高倉	農業と福祉の連携。施設外就労を中心とした障害者雇用による農業の活性化。
道志村農泊実施協議会／山梨県道志村	農山漁村滞在型旅行の事業化を目指し、MTBプログラムの開発とアドベンチャーツアープログラムの開発を行った。
松崎町半農半X促進協議会／静岡県賀茂郡松崎町	長期滞在型の半農半IT研修プログラムを開発した。
種子島・伊関農泊推進協議会／鹿児島県西之表市伊関	農山漁村滞在型旅行の開発を行った。

2) 湘南国際マラソン2018

湘南国際マラソン2018の公式寄付先団体として選定を受け、東日本大震災ならびに福島第一原発事故によって被害を受けた地域にて、ふたたび自然と共に生きる地域社会を創るべく、被災地における自然を活かした地域再生活動を行った。

・ 自然資源を活かしたツーリズムの支援

岩手、宮城、福島各県の沿岸被災地では、観光や視察で訪れる人の数が伸び悩み、風化への懸念が強まっている。中でも、被災者らが震災の体験や教訓を話す「語り部」ガイドの利用者はピークから大きく減少し、震災の伝承に関わる団体や個人は、将来的な活動継続への危機感を募らせている。

岩手県沿岸部で2010年582万人が2016年387万人。宮城県気仙沼・石巻圏で805万人が551万人。福島県浜通りで1,615万人が1,067万人と40%近く減少している。（2018年3月時点）

豊かな生物種や水産資源、美しい風景をもちつつも、震災をきっかけに減少してしまった観光客。地域の魅力や自然の豊かさを多くの方に知ってもらい、守るべき環境財産としてこれからも保全していくべく、宮城県内沿岸部のグリーン・ツーリズムやエコツーリズム実施団体等をマッピング化しプロモーションに努めた。

・ 復興人材の育成

東北の環境再生に関心をもつ若者同士の交流と気づきのきっかけを目的に「里海再生」スタディーキャンプを開催することで、被災地の現状を知り、課題に気づききっかけを提供した。

・ 子どもたちの自然体験支援（宮城県気仙沼市舞浜地区）

東日本大震災により、津波で破壊された気仙沼の海岸線では防波堤を建てる復旧復興工事が開始されたため、子どもたちが簡単には海に近づけない状態になった。

気仙沼市の一部では地域住民の希望により浜辺を守ることができた。この浜辺や漁港を活かして、この海を好きになり、一緒に守り浜をもっと活性化させたいという思いから、海を楽しみ、知るイベントの支援を行い、地域の子どもたちと海との関係を取り戻す自然体験プログラムが開催された。

3) 静岡トヨタ自動車(株)ハイブリット基金

松崎町石部棚田におけるホテルの新たなビオトープネットワークを創出すべく、石部棚田の上流域にある山林エリアをホテルが生息できる環境に再生工事を行った。

④ 自然体験学習に係る活動

特になし

⑤ テキスト等の出版に係る活動

特になし

⑥ 社会啓発や情報発信等に係る活動

1) ニュースレター

ニュースレター（環境再生事例6頁・進捗2頁）を年4回発行した。なお、No. 63号（3月）は環境再生事例がなかったため「NARECの平成を振り返る」とした。

月・No	内容
6月 No. 60	環境再生活動事例 氏名 林 紀代美 テーマ 身近な食から環境とわたし、地域を考える～学びや活動の難しさに悪戦苦闘しながら～

9月 No. 61	環境再生活動事例 氏名 黒川 美加 テーマ 山崎の谷戸・景観と生態系を守る
1月 No. 62	環境再生活動事例 氏名 栗原 淳 テーマ 企業による生物多様性保全活動の取り組み～生物多様性に配慮した事業所内の緑地活用～
3月 No. 63	特集 NARECの平成を振り返る

2) ホームページ

ホームページの他、MLとSNS (Facebook・Twitter)にて情報発信を行った。
ホームページの閲覧者数 (ランディングページの合計人数) は24,617人であった。
レンジャーズプロジェクトのホームページ閲覧者数 (ランディングページの合計人数) は6,577人であった。

⑦ 自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動
特になし

(2) その他の事業
なし

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額 (千円)
① 環境教育及び環境人材の育成に係る活動	1) 資格認定講習 2) 認定校制度 3) 資格制度の質の向上 4) 資格取得者の管理 (更新等)	1) 10/6-7、12-13 2) 通年 3) 2/24-25 4) 通年	1) 北海道、東京都 2) 全国 3) 宮城県 4) 全国	1) 9人 2) 2人 3) 2人 4) 2人	1) 受講者 23人 2) 認定者 212人 3) 参加者 6人 4) 更新者 124人	2,526
② 身近な自然環境の保全・復元・維持に係る活動	1) レンジャーズプロジェクト 2) 大阪マラソン2018 3) みどり東京・温暖化防止プロジェクト助成金	1) 通年 2) 通年 3) 通年	1) 埼玉県、東京都、神奈川県 2) 大阪府 3) 渋谷区	1) 5人 2) 10人 3) 4人	1) 登録者 3,058人 2) ランナー 32,000人 3) 渋谷区民 228,070人	7,751
③ 農山漁村の活性化及び環境保全型農業に係る活動	1) 農山漁村振興交付金 2) 湘南国際マラソン2018 3) 静岡トヨタ自動車(株)ハイブリッド基金	1) 通年 2) 通年 3) 通年	1) 栃木県宇都宮市、埼玉県鶴ヶ島市、山梨県道志村、静岡県松崎町、鹿児島県西之表市 2) 宮城県 3) 静岡県松崎町	1) 3人 2) 13人 3) 2人	1) 協議会構成員等 40人・団体 2) ランナー 21,730人 3) 松崎町石部地区住民 246人	12,139
④ 自然体験学習に係る活動	特になし					0
⑤ テキスト等の出版	特になし					0

に係る活動						
⑥ 社会啓発や情報発信等に係る活動	1) ニュースレター 2) ホームページ	1) 年4回 2) 通年	1) 東京 2) 東京	1) 3人 2) 2人	1) 発送数 1,311人 2) 閲覧者 20,452人	1,809
⑦ 自然環境の復元の学術的発展に貢献する活動	特になし					0

(2) その他の事業
なし

事業名	事業内容	実施日	実施場所	従事者の人数	事業費の金額 (千円)